

令和7年度事業報告書

自 令和 7年4月 1日

至 令和 8年3月31日

1 事業概要

令和7年度の配合飼料価格は、第3四半期まで輸入原料価格が高値安定で推移したことにより補てん発動はありませんでしたが、第4四半期に価格上昇のため、1,750 円/ t の補てんが2年ぶりに発動されました。

また、県単独事業として、令和7年度の対象となる配合飼料の積立金 800 円/ t に対し、200 円/ t の補助事業が実施され、畜産農家の負担軽減が図られました。

肉用子牛生産者補給金制度については、肥育素牛不足が顕在化し、黒毛和種をはじめ交雑種、乳用種の子牛価格の上昇により、発動はありませんでした。

また、肉用子牛生産者補給金制度と連動して実施される優良和子牛生産推進緊急支援事業及び和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業、並びに令和6年度補正予算で措置された肉用牛経営緊急支援事業（県単事業）も同様に交付されませんでした。

肉用牛肥育経営安定交付金制度については、肉専用種の交付はありませんでしたが、交雑種では6、8、9月の3回、乳用種では全ての月で発動がありました。

一方、家畜衛生面においては、鳥インフルエンザの国内での発生が継続しており、また、豚熱も北松地域及び主要生産地に近い諫早市においても野生イノシシから発生しています。海外からの観光客が増加する中、新たな悪性疾病の発生が危惧される状況でした。

このような厳しい情勢の中、当協会としては、会員傘下の畜産農家の健全な発展のため、会員各位と連携を密にして、主事業である配合飼料価格差補てん事業の円滑な推進及び各種の畜産振興対策事業を積極的に取り組みましたので、その概要を報告します。

2 会員の状況

会 員 名	期 首	期中増減	期 末
飼 料 荷 受 組 合	1 4	—	1 4
配合飼料製造業者	1 2	—	1 2
配合飼料販売業者	7	△ 1	6
計	3 3	△ 1	3 2

3 事業実施等実績

(1) 配合飼料価格差補てん事業

① 本年度の契約数量及び積立金

令和7年度中の契約数量及び積立金

(件、ト、%、円)

畜 種	当 初 契 約		畜種別 割 合	年 度 内				最 終 契 約		積 立 金 (800 円/ト)
	件数	数 量		転 入		解 約		件数	数 量	
				件数	数量	件数	数量			
乳 牛	53	8,802	3.2	—	—	1	90	52	8,712	
肉 牛	187	77,093	28.0	—	—	3	14	184	77,079	
豚	32	80,652	29.3	—	—	—	—	32	80,652	
採卵鶏	38	61,691	22.4	—	—	1	22	37	61,669	
肉用鶏	7	46,825	17.0	—	—	—	—	7	46,825	
計	317	275,063	100.0	—	—	5	126	312	274,937	

② 配合飼料価格差補てん金の交付実績

配合飼料価格差補てん事業については、第1～3四半期まで発動がありませんでしたが、第4四半期に1,750 円/t の発動がありました。

区 分	第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)
補てん単価 (円/ t)	0	0	0	1,750
通常補てん金	0	0	0	1,750
異常補てん金	0	0	0	0
対象件数 (件)	—	—	—	—
契約数量 (kg)	—	—	—	—
補てん対象数量 (kg)	—	—	—	—
補てん率 (%)	0	0	0	—
補てん金額 (円)	0	0	0	—
(内訳) 通常補てん金	0	0	0	—
異常補てん金	0	0	0	—
1 件当補てん額 (円)	0	0	0	—

③ 配合飼料価格安定基金の運営に関する実態調査の実施

(一社) 全日本配合飼料価格畜産安定基金の委託を受け、飼料荷受組合及び特約店における基金関係業務の実態調査を実施しました。(調査対象：1 飼料荷受組合、1 特約店)

(2) 飼料価格高騰緊急対策事業(県単)

飼料価格の高騰による畜産経営への影響緩和のため、飼料コスト低減に取り組む生産者の令和7年度の配合飼料価格安定制度に係る生産者積立金の一部を支援しました。

対象戸数 306 件 対象数量 274,937,000 kg×単価 200 円/t＝補助金額 54,987,400 円

(3) 肉用子牛生産者対策事業

肉用子牛生産者補給金制度（令和7年度～令和11年度）

肉用子牛価格が低落し、平均売買価格が保証基準価格を下回った場合には国からの補給金が、更に合理化目標価格を下回った場合には、国、県、生産者で積み立てた積立金を取り崩して生産者補給金を交付し、肉用子牛生産者の経営の安定を図るもので、事業主体である（一社）長崎県畜産物価格安定基金協会から業務の一部委託を受け、個体登録等及び生産者積立金の徴収等を行いました。

なお、本年度は、第1四半期から第3四半期まで発動がありませんでした。

ア 令和7年度の保証基準価格及び生産者積立金 (円/頭)

区 分		黒毛和種	乳 用 種	交 雑 種
保証基準価格		574,000	164,000	274,000
合理化目標価格		446,000	110,000	216,000
生産者積立金		1,600	5,000	2,400
負担 区分	機 構(1/2)	800	2,500	1,200
	県 (1/4)	400	1,250	600
	生産者(1/4)	400	1,250	600
平均 売買 価格	6年度 1～3月	589,700	205,200	389,400
	7年度 4～6月	650,900	254,700	382,500
	7～9月	647,800	220,600	392,800
	10～12月	715,500	218,000	448,500

注： 保証基準価格等及び負担区分は令和7年度を記載した。6年度1～3月分は異なる。

イ 補給金交付実績（黒毛和種）全期間発動なし

	頭 数 (頭)	単 価(円)	補給金交付額(円)
6年度 1～3月	—	—	—
7年度 4～6月	—	—	—
7～9月	—	—	—
10～12月	—	—	—

ウ 令和7年登録頭数及び積立金の納付状況 (戸、頭、円)

区 分	契約戸数	個体登録 頭 数	積立金納付額
黒毛和種	(4)	1,452	580,800
乳 用 種	(1)	109	136,250
交 雑 種	(2)	2,545	1,527,000
計	5	4,106	2,244,050

(注) 1 委託費の計算期間が令和7年1～令和7年12月のため、個体登録頭数、積立金納付額は令和7年の数値で計上。
積立金は、新規および継続の合算。

(4) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン：令和7年度～令和9年度）

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、生産者の抛出と県、機構の補助により造成した基金から粗収益と生産費との差額の9割を補てんすることにより、肉用牛肥育経営の安定を図るもので、（一社）長崎県畜産協会から業務の一部委託を受け、個体登録申込み及び販売報告等を行いました。なお、この制度は、令和7年4月から第3業務対象年間へ移行実施されました。

交付金の発動状況については、肉専用種はありませんでしたが、交雑種は6、8、9月の計3回、また、乳用種では全ての月で発動がありました。

① 令和7年度個体登録及び納付実績 （単位： 頭、円/頭、円）

区 分		肉専用種	交雑種	乳用種	計
個体登録頭数		7,164	4,739	316	12,219
負担金納付頭数		8,796	4,482	305	13,583
負担区分	農畜産業振興機構(3/4)	30,000	51,000	54,000	－
	生産者	8,380	15,960	17,120	－
	県	1,620	1,040	880	－
	生産者＋県（計）（1/4）	10,000	17,000	18,000	－
	計	40,000	68,000	72,000	－
生産者負担金納付額		73,710,480	71,532,720	5,221,600	150,464,800

注： 令和7年度生産者負担金納付実績（令和7年4月～令和8年3月）

② 交付金の交付実績

交付金発動状況：発動期間 令和7年1月～令和7年12月 （単位：頭、頭/円、円）

月	肉専用種			交雑種			乳用種		
	頭数	単価	補填金額	頭数	単価	補填金額	頭数	単価	補填金額
1月	—	—	—	—	—	—	22	53,238.6	1,171,249
2月	—	—	—	—	—	—	31	32,234.4	999,265
3月	—	—	—	—	—	—	24	21,478.5	515,483
4月	—	—	—	—	—	—	28	21,422.7	599,833
5月	—	—	—	—	—	—	35	29,549.7	1,034,237
6月	—	—	—	338	6,866.1	2,320,736	24	27,264.6	654,350
7月	—	—	—	—	—	—	25	41,716.8	1,042,919
8月	—	—	—	357	7,277.4	2,598,026	21	33,453.9	702,531
9月	—	—	—	291	10,432.8	3,035,940	29	33,977.7	985,353
10月	—	—	—	—	—	—	22	9,699.3	213,384

11月	—	—	—	—	—	—	21	24,517.8	514,873
12月	—	—	—	—	—	—	22	64,852.2	1,426,748
計		0 (回)		986	3 (回)	7,954,702	304	12 (回)	9,860,225

※総合計：17,814,927 円 (1,290 頭)

(5) 長崎和牛肥育素牛導入事業 (県単)

長崎和牛の生産維持・拡大を図る農業者等を支援するため、一部一貫チャレンジ事業及び肥育素牛導入事業を実施し、肥育農家等に対し、増頭数に対して、県が素牛の導入経費の一部を助成しました。

① 一部一貫チャレンジ事業

繁殖農家が県内市場導入牛及び自家保留牛を、肥育の目的で導入あるいは保留して、増頭が図られる場合に支援しました。(新規 100,000 円/頭・2 年目以降 80,000 円、限度 100 頭/経営体)

新規 — 頭 補助単価 100,000 円 補助金額 — 円
2 年目以降 75 頭 補助単価 80,000 円 補助金額 6,000,000 円

② 肥育素牛導入事業 (県内市場導入型・一般導入型)

肥育農家が肥育を目的として、肥育素牛を導入して増頭が図られる場合、県内家畜市場からの導入で 80,000 円/頭、それ以外の市場からの導入で 50,000 円/頭を支援しました。

(限度：合算して 100 頭/経営体)

県内市場導入型 144 頭 補助単価 80,000 円 補助金額 11,520,000 円
一般導入型 59 頭 補助単価 50,000 円 補助金額 2,950,000 円

(6) 肉豚経営安定交付金制度

基金協会は、事務委託を希望する生産者との間で事務委託契約を締結し、従来どおり飼料荷受組合等との連携を図りながら受託者としてその業務を代行しました。

本年度は、補てん金の発動はありませんでした。

① 令和 7 年度委託契約実績

受託件数 (件)	事業対象頭数(頭)	
	契約頭数	出荷頭数
15	108,192	99,258

② 1 頭当たり積立金 (円)

1 頭当たり 積立金	負担区分			
	農畜産業振興機構 (国 3 : 生産者 1)	生産者積立金		
		生産者	長崎県	計
1,600	1,200	336	64	400

(7) 畜産関係リース事業

(一財) 畜産環境整備機構と当協会との業務委託契約に基づき、畜産環境整備リース事業(旧 1/2 補助付きリース)及び畜産高度化支援リース事業(補助付きリース)に係る借受者に対する貸付料等の徴収、機構への納付などの業務を行いました。

4 管理運営事項

(1) 理事会・総会等の開催状況

開催日	会議名	主な決議又は決定事項等
令和7年 4月22日(火)	監事会 (ホテルセントヒル長崎)	令和6年度決算監査
4月22日(火)	第1回理事会 (ホテルセントヒル長崎)	1 令和6年度事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書の承認の件 2 令和7年度事業計画書及び収支予算書の一部変更の承認の件 3 令和7年度会費の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法の承認の件 4 令和7年度役員報酬総額の承認の件 5 役員選任の承認の件 6 定款の一部変更の承認の件 7 第50回定時総会の招集及び附議事項の設定の件
5月22日(木)	第50回定時総会 (ホテルセントヒル長崎)	1 令和6年度貸借対照表、及び正味財産増減計算書の承認の件 2 令和7年度会費の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法の承認の件 3 令和7年度役員報酬総額の承認の件 4 役員の選任の承認の件 5 定款の一部変更の承認の件 報告事項 1 令和6年度事業報告書について 2 令和7年度事業計画書及び収支予算書について
5月22日(木)	臨時理事会 (ホテルセントヒル長崎)	理事長の常務理事兼任の分離に伴い、常務理事の空席による常務理事の新たな選任の件
令和8年 3月17日(火)	第2回理事会 (書面決議)	1 令和8年度事業計画書及び収支予算書の承認の件 2 処務規定及び育児・介護休業等規程の一部改正の件 報告事項 令和7年度事業の進捗状況報告について

(2) 主な諸会議等

年 月 日	内 容	場 所
令和 7. 4. 10	長崎和牛肥育素牛導入事業に係る生産者個別説明会	佐世保市
4. 14	長崎和牛肥育素牛導入事業に係る生産者個別説明会	南島原市
5. 7	全国和牛能力共進会「長崎和牛」推進協議会出品対策委員会	長崎市
5. 7	長崎和牛銘柄推進協議会監査	長崎市
5. 15	和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業の生産者個別説明会	雲仙・南島原
5. 16	長崎和牛銘柄推進協議会幹事会	長崎市
5. 29	長崎和牛銘柄推進協議会総会	長崎市
5. 29	九州農業 WEEK・九州畜産資材 EXPO	熊本県
5. 30	畜産高度化支援リース事業等全国説明会	WEB
6. 5	長崎県資源循環型畜産確立推進指導協議会	WEB
6. 13	全国和牛能力共進会「長崎和牛」推進協議会通常総会	長崎市
6. 13	令和7年度第1回（一社）長崎県畜産協会通常理事会	長崎市
6. 17	（一社）全日本配合飼料価格畜産安定基金協会定時総会	東京都
6. 30	（一社）長崎県畜産協会定時総会	長崎市
6. 30	（一社）長崎県畜産物価格安定基金協会定時総会	長崎市
7. 3	全国和牛能力共進会北海道大会（肉牛の部）取組希望者説明会	諫早市
7. 11	九州全日本畜産経営者協会総会・意見交換会	鹿児島市
7. 31	山口・九州地区配合飼料価格安定基金協会連絡協議会常務理事会	大分市
8. 5	肉用子牛生産者補給金制度に係る日本クリーンファーム(株)との協議	長崎市
8. 5	全国和牛能力共進会「長崎和牛」推進協議会出品対策委員会	長崎市
8. 7	食料システム法に関する九州ブロック説明会（九州農政局主催）	WEB
8. 25	長崎和牛肥育素牛導入事業・肉用牛経営緊急支援事業の畜産課調査	長崎市
9. 1～	基金協会新任役員研修会（全日基主催）	東京都
10. 2	山口・九州地区配合飼料価格安定基金協会連絡協議会事務職員研修会	山口市
10. 16	全国和牛能力共進会「長崎和牛」推進協議会出品対策委員会	長崎市
10. 23	第1回長崎県鳥インフルエンザ防疫対策会議	WEB
11. 6	令和7年度長崎県和牛共進会	雲仙市
11. 26	配合飼料価格安定基金制度の運営に関する実態調査	熊本市
11. 26	令和7年度飼料基金関係説明会（九州地区）（全日基主催）	福岡市
12. 11	全国和牛能力共進会「長崎和牛」推進協議会出品対策委員会	長崎市
12. 12	配合飼料価格安定基金制度の運営に関する実態調査	雲仙市
12. 16	第1回「第三期ながさき肉用牛振興計画」連絡会議	長崎市
12. 23	令和8年度に係る飼料基金事務担当者会議	長崎市
12. 24	令和7年度飼料価格高騰緊急対策事業（県単独事業）説明会	WEB
令和 8. 1. 7	全共「長崎和牛」推進協議会出品対策委員会肉牛の部に係る検討会	WEB
1. 15	長崎県豚熱防疫対策会議	WEB
1. 28	第2回「第三期ながさき肉用牛振興計画」連絡会議	長崎市
1. 29	全日畜セミナー「畜産DXとアニマルウェルフェアで開く経営の未来」	WEB

2. 5	補てん事業担当職員研修会（全日基主催）	WE B
2. 9	全国和牛能力共進会「長崎和牛」推進協議会出品対策委員会	長崎市
2.19	長崎和牛肥育素牛導入事業の事業要件等協議（県畜産課）	長崎市
2.25	長崎県資源循環型畜産確立推進指導協議会	長崎市
2.26	第3回「第三期ながさき肉用牛振興計画」連絡会議	長崎市
3. 6	農林部所管事業（経済対策関係等）説明会	WE B
3. 6	令和8年度畜産関係事業等説明会	長崎市
3.11	令和7年度第2回（一社）長崎県畜産協会通常理事会	長崎市